

平成 30 年度 後期開講科目と募集人員について

募集科目の内容と曜日・時間

(2018 年 10 月～2019 年 3 月)

開講科目	単位数	学 習 内 容	コース	開講曜日・時間	人数
(地理歴史) 日本史 A	2	<p>様々な視点や考え方が、過去の事象の理解にどのように関わっているのかについて、理解を深めます。</p> <p>主に江戸時代末の 19 世紀以降に、どのように日本近代社会が形成され、世界と関わったのかを中心に歴史を学びます。「日本とはなんだろうか」「今日の社会が作られた道筋」を考えてみましょう。</p>	夜間	水曜日 9・10 校時(17:50～19:20) 金曜日 11・12 校時(19:40～21:10)	若干名
(地理歴史) 地理 A	2	<p>自分の生活と関連づけながら、地球上で起きる様々な現象についての基礎的な視点を身につけます。世界の諸地域の自然・産業・文化や、世界諸地域の社会の特色について学びます。身のまわりから世界へ、世界とつながる自分を考えてみましょう。</p>	夜間	月曜日 9・10 校時(17:50～19:20) 水曜日 11・12 校時(19:40～21:10)	若干名
(数学) (新)数学 I (b)	2	<p>(新)数学 I では、「数と式」「2 次関数」「図形と計量」「集合と論証」「データの分析」を学びます。これらは、高校数学でもっとも基本的な部分ですから、しっかり勉強してグローバル化の時代を生きるすべを身につけて下さい。(新)数学 I (b)では、後半の「図形と数量」「集合と論証」「データの分析」を学びます。</p> <p>※前期開講の(新)数学 I (a)と後期開講の(新)数学 I (b)の両方を履修して(新)数学 I 全体の修了が認められます。</p>	午前①	月曜日 1・2 校時(8:35～10:05) 水曜日 3・4 校時(10:25～11:55)	若干名
			午前②	水曜日 1・2 校時(8:35～10:05) 金曜日 3・4 校時(10:25～11:55)	若干名
			午後	火曜日 7・8 校時(15:20～16:50) 木曜日 5・6 校時(13:30～15:00)	若干名
			夜間	水曜日 9・10 校時(17:50～19:20) 金曜日 11・12 校時(19:40～21:10)	若干名
(数学) (新)数学 II (b)	2	<p>(新)数学 II では、(新)数学 I を受けて「方程式・式と証明」、座標平面を用いた式と図形の間係を「図形と方程式」で学習します。さらに「三角関数」「指数関数・対数関数」で多項式で書けない関数を学び、最後に微積分の入門事項を「微分と積分」で学習します。(新)数学 II (b)ではそのうち後半の「指数関数・対数関数」「微分と積分」を学習します。</p> <p>※前期開講の(新)数学 II (a)と後期開講の(新)数学 II (b)の両方を履修して(新)数学 II 全体の修了が認められます。</p>	午前	月曜日 1・2 校時(8:35～10:05) 水曜日 3・4 校時(10:25～11:55)	若干名
(新)数学 III (b)	2	<p>(新)数学 III では、(新)数学 II で習った内容をさらに深めて学習します。主に「平面上の曲線」「複素数平面」「関数と極限」「微分・積分」の内容で構成されます。なお、内容的には、(新)数学 B の履修を終えていること</p>	午後	火曜日 5・6 校時(13:30～15:00) 木曜日 7・8 校時(15:20～16:50)	若干名

		が望ましいです。 ※前期開講の(新)数学Ⅲ(a)と後期開講の(新)数学Ⅲ(b)の両方を履修して(新)数学Ⅲ全体の修了が認められます。			
(数学) (新)数学 B	2	(新)数学 B では、「数列」「ベクトル」について学びます。大学進学を考えている生徒の中でも、理系・看護系・経済系を希望している生徒は選択して履修して下さい。 ※数学 I を履修していない生徒は、原則として履修することができません。	午後	水曜日 5・6 校時(13:30～15:00) 金曜日 7・8 校時(15:20～16:50)	若干名
(理科) 科学と人間生活	2	理科 4 領域(物理・化学・生物・地学)について、日常生活に結びつきの強い分野を中心にやさしく学べる科目です。	午前 ①	月曜日 1・2 校時(8:35～10:05) 水曜日 3・4 校時(10:25～11:55)	若干名
			午前 ②	火曜日 1・2 校時(8:35～10:05) 木曜日 3・4 校時(10:25～11:55)	
			夜間 ①	月曜日 9・10 校時(17:50～19:20) 水曜日 11・12 校時 (19:40～21:10)	
			夜間 ②	火曜日 11・12 校時 (19:40～21:10) 木曜日 9・10 校時(17:50～19:20)	
(理科) 生物基礎	2	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物環境への関心を高め、観察・実験を通して学習します。基本的な原理や法則を理解することにより、科学的な自然観を身につけます。	午後	月曜日 5・6 校時(13:30～15:00) 水曜日 7・8 校時(13:30～15:00)	若干名
(理科) 地学基礎	2	地球を惑星としてとらえ、星の一生、太陽系の惑星、地震や火山のしくみ、気候や気象のしくみなどについて、視聴覚教材や実験なども交えながら学習します。	夜間	月曜日 9・10 校時(17:50～19:20) 水曜日 11・12 校時 (19:40～21:10)	若干名
(芸術) 書道 I	2	中学校までの「書写」とは違う、芸術としての「書道」の基礎的な学習です。進んで表現しようとする態度や様々な書美を認め理解する態度、書を愛好する心を育てます。様々な書の古典の学習では、書美に対する幅を広げ、書写技能を高めます。また、「漢字仮名交じりの書」「漢字創作」など創作作品の制作に取り組みます。 ※実習教材費 5,000円	午前	火曜日 1・2 校時(8:35～10:05) 木曜日 3・4 校時(10:25～11:55)	若干名
			夜間	火曜日 11・12 校時(19:40～21:10) 木曜日 9・10 校時(17:50～19:20)	若干名

(芸術) 書道Ⅱ	2	<p>「書道Ⅰ」の学習を踏まえて、更に学習の深化をはかります。書写能力や表現技術を高め、より錬度の高い作品作りを目指すとともに、様々な書美を認め理解する態度や、書を愛好する心を育てます。</p> <p>様々な書の古典の学習を深めるとともに、さまざまな創作作品の制作に取り組みます。</p> <p>※実習教材費 5,000円</p>	午後	<p>火曜日 5・6校時(13:30～15:00)</p> <p>木曜日 7・8校時(15:20～16:50)</p>	若干名
(芸術) 生活に 生きる書	1	<p>書を生活に活かすことをテーマに学習し、進んで表現しようとする態度や様々な書美を認め理解する態度、書を愛好する心を育てます。「書的もの作り」とでも言うべき講座で、書を生活の中で活かし、より身近な存在として親しめるように、日常生活に溶け込む作品を制作し、飾れる状態にまで仕上げます。制作する作品は全て「創作」ですので、もちろんお手本などはありません。</p> <p>※実習教材費 3,000円</p>	午後	金曜日 5・6校時(13:30～15:00)	若干名
(芸術) 実用書道	1	<p>ペン習字のドリル学習で、文字を「正しく、速く、整えて」書く技能を高めることが学習目標です。書写能力を高めるとともに、手書きの文字を大切に作る心や文字を丁寧に書く姿勢を育てます。</p> <p>※実習教材費 500円</p>	午前	金曜日 1・2校時(8:35～10:05)	若干名
(英語) 生活 LL 英語 (b)	1	<p>①会話や英語の歌、テレビ番組などを題材にしたリスニング練習</p> <p>②英語で日記を書く練習</p> <p>③自分でテーマを決めてレポート作成</p>	午後	水曜日 7・8校時(15:20～16:50)	若干名